

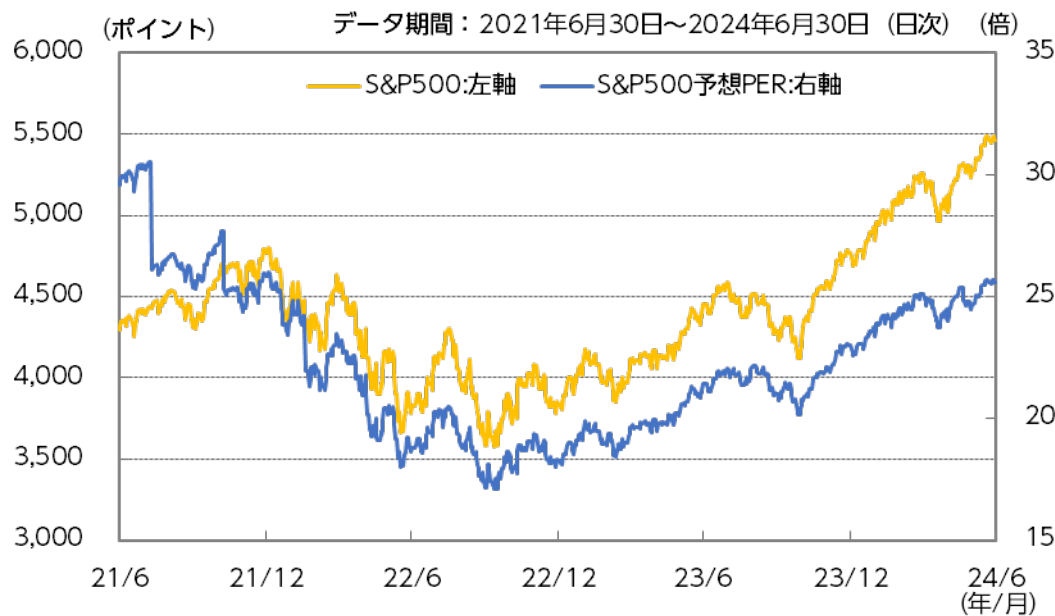
## 【米国株式】

- 11月の米大統領選を控えるなか急速な上昇相場の反動などにより、目先は軟調に推移する可能性も考えられます。
- 中期的には企業の積極的な設備投資や米景気の底堅さ、長期金利の変動が落ち着くことなどを受け、上昇基調になることが予想されます。

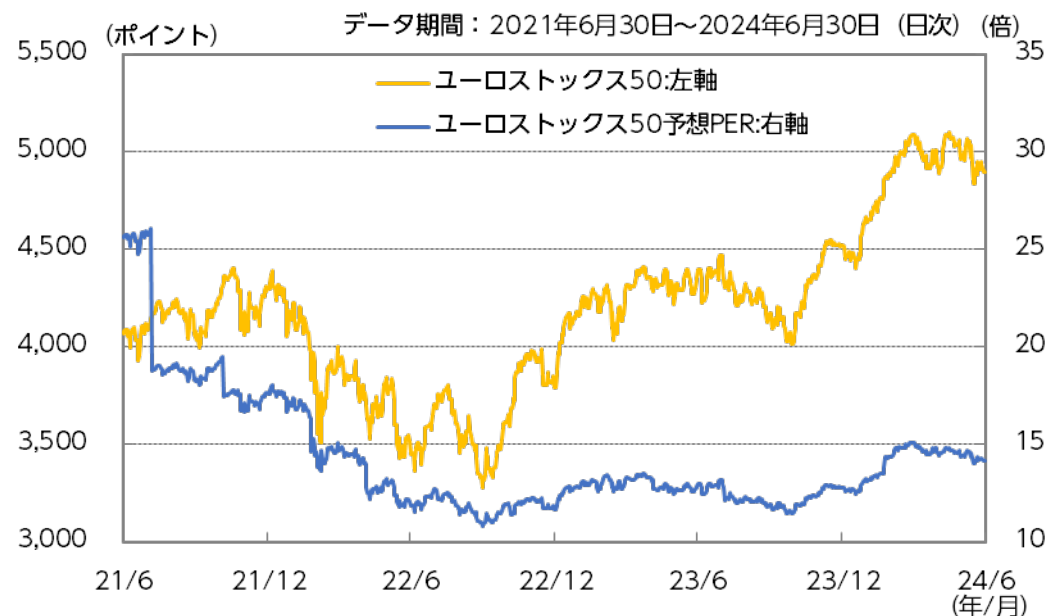
## 【欧州株式】

- 目先は政治イベントへの不透明感や残存する地政学リスク等、急速な上昇相場の反動から軟調な展開が予想されます。
- 中長期的には上昇傾向を見込むものの、欧州景気が軟調なことや人件費が企業収益を圧迫する可能性があることなどから、欧州株式は米国株式に比べて軟調な推移が予想されます。

【 S & P 500種指数と株価収益率の推移 】



【 ユーロ・ストックス50指数と株価収益率の推移 】



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成